

H3ロケット7号機打上げ成功についての知事コメント

本日午前9時00分、鹿児島県の種子島宇宙センターにおいて、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）及び三菱重工業株式会社が開発したH3ロケット7号機が打ち上げられ、搭載された「新型宇宙ステーション補給機（HTV-X）1号機」の分離に成功しました。これにより、H3ロケットは5回連続での打上げ成功となり、今後も安定した運用を期待します。

HTV-Xは、宇宙ステーション補給機「こうのとり（HTV）」の後継機として開発された次世代の補給機であり、国際宇宙ステーション（ISS）への物資輸送を終えた後は、技術実証のためのプラットフォームとして活用される計画となっています。

本県には、H3ロケットの機体やエンジンの開発・製造を担う三菱重工業株式会社をはじめ、関連のサプライヤーが多数集積しています。今回の打上げ成功は、県内の中小サプライヤーにとっても大きな励みとなるものです。

本県としましても、航空宇宙産業を、愛知を支える産業として、地域の行政、支援機関、業界団体及び大学で構成する「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」を核に、引き続きしっかりと支援してまいります。

2025年10月26日

愛知県知事 大村秀章